



谷川で水浴する兎と猿、鼻をつまんで水に飛び込もうとする兎、柄杓をもつ兎、猿の背中をさするもう1匹の猿、鹿に馬乗りする兎と、後から水を引っかけする猿。^[4]

鳥獣戯画

甲巻，乙巻，丙巻，丁巻があります。他にも，鶏が出てきたり獅子が出てきたり…といろいろな場面があります。